

働いて汗をかくっていいことだ 小学生が職場体験

11月24日、25日、28日の3日間、豊野小学校の4年生が、町内の商店や保育園・図書館など9事業所へ出向き、職場体験学習をしました。

子牛（乳牛と黒毛和牛の交雑種）の飼育業を営む同町山崎の野田丈次さん宅では、男子5人が実習。粉ミルクを水で溶いたり、子牛が風邪をひかないよう鼻に消毒液を吹き掛けたりしました。

体験学習の成果について古賀秀一校長は、「働くことの大切さを知ることはもちろん、地域の人との交流にもなるようです」と話しました。



働くことの厳しさとともに楽しさを学んだ児童たち

少年たちに元プロの技を伝授 江藤省三氏の野球指導

11月27日、松橋町出身で元巨人軍コーチの江藤省三氏（東京宇城市会会員）による野球教室が、松橋中学校グラウンドで開催されました。今年で5回目。同中学校野球部をはじめ、市内中学校の生徒約100人が参加しました。

午前中は、ノックなどで守備を中心に、午後はバットの振り方、バントの仕方など打撃のコツを分かりやすく指導。教室がスタートしてすぐは戸惑いがあったのかやや消極的だった子どもたちも、時間が経つとともに積極的に質問したり、指導を受けたりしていました。



指導を受ける子どもたちの表情は真剣そのもの

宇城市の魅力がいっぱい！ 笑顔笑顔の「花のバスツアー」

このほど、「花に誘われてうきうき花のバスツアー」があり、市内外から訪れた花愛好者たちが“花のまち宇城市”を満喫しました。市観光物産協会の主催。

これは、市内の花の生産農家や観光名所などをバスで巡る日帰りのバスツアーで、2つのコースを設定。それぞれ2日ずつ実施し、4日間で市内外から177人が参加しました。

11月19日、20日は「花酔い気分で湯ったりコース（三角町～不知火町）」を実施し、三角西港の散策、物産館（ラ・ガール）を見学した後、戸馳花の学校に到着。花の説明を受けた参加者からは「丁寧で、花のことがよく分かった」と喜びの声が聞かれました。



「戸馳花の学校」（三角町）で親切丁寧な花の説明を聞く参加者たち

昼食後は不知火町松合の土蔵白壁を見学、最後に不知火温泉に入り、参加者たちはゆったり、さっぱりして帰途に就きました。

また、11月26日、27日にあった「花に誘われてしあわせコース（松橋町～小川町）」では、松橋町のシクラメンの生産農家を見学した後、小川町の風の館・塩屋で昼食。そして、同日開催中の宇城市物産展に立ち寄った後、松橋町のシンピジウムの生産農家を見学し、花を満喫して帰りました。

ツアーを終えた参加者たちは、「どの場所も楽しく見物させてもらい、久しぶりに温泉にも入れて、とても癒やされた」「塩屋再建の秘話に感動した」「来年も、ぜひ参加したい。今度は花の寄せ植えを体験したい」といづれのコースも大好評。参加者は次回も参加する意欲満々で期待しているようでした。



花の生産農家（松橋町）で、生産者から花のワンポイントアドバイスを受ける参加者

ゴ〜ル！サッカーを満喫 HAYASICUP2005開催

11月19日、20日、第15回HAYASICUP2005小川町U9サッカー大会が、観音山総合運動公園グラウンド（小川町）で開催されました。

県内各地から強豪111チームが出場し、宇城市内のチームは6部門中4部門で優勝。今年から「ママさんの部」も加わり、会場を盛り上げました。

各年代別の市の優勝チームは次のとおりです。

- 【年中の部】 河江FCゲッチュウ（小川町）
- 【年長の部】 とよのリアル（豊野町）
- 【1年の部】 河江FC1年バルサ（小川町）
- 【ママさんの部】 小川JSCセレブ（小川町）



見事なドリブルで狙うはシュートだ！

町を元気にしよう！ 三角町活性化プロジェクト検討会

11月18日、三角町商工会で三角町活性化プロジェクト検討会が行われ、同町のさまざまな職域を代表する検討会員ら約40人が出席しました。

初めに三角隆史商工会青年部長が、「明るい三角町になるよう、日ごろ思っていることをざっくばらんに話していただき、いろいろなご意見を出してもらいたい」とあいさつ。「町の歳時記を振り返る」をテーマに、班ごとに分かれ、産業振興に関連する町の資源を「ひと」「もの」「こと」別に洗い出し、それらを月別に整理しました。

今後も5回の検討会を重ねる予定です。



地域資源の洗い出しをする検討会員たち



不知火町松合の土蔵白壁の街並みを散策



風の館・塩屋（小川町）で、市の特産品を使用した特製弁当に舌鼓